

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 30 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	1	交通対策
基本施策	1	交通対策	単位施策	(1)	鉄道の利便性の向上
主管課		企画財政課	関連課	都市整備課、行政課	総合計画書 ページ番号
現状と課題		・岩倉駅は、本市を縦断する名鉄犬山線の主要駅としての役割を担っており、乗降客数は減少傾向にあるものの、東西のバス網の結節点となっていることから、多くの人々が集まる賑わいの拠点となっている。また石仏駅は、本市北部の玄関駅としての役割を担っているが、駅東側の改札口が無くホームの幅も狭いことが課題となっている。 ・岩倉駅東地区における岩倉駅への交通アクセスの向上に当たっては、都市計画道路桜通線及び江南岩倉線の整備促進が最重要課題となっている。この都市計画道路の整備については、既成市街地における用地買収となることから、残地等を含めた道路整備後の沿道土地利用計画について今後のまちづくりの方向性を踏まえ、権利者や地元組織である岩倉駅東地区再生協議会の意向を踏まえた検討が必要である。 ・岩倉駅周辺の駐輪場については、岩倉駅東地区北街区市街地再開発事業に伴う駐輪場の設置により量的には一定充足したものの、施設の効率・効果的な利用を促していくことが必要となっている。			161

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	石仏駅東側の改札口設置などは、尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通して関係機関に要望している。都市計画道路桜通線は、平成25年度の事業認可を予定しているが、江南岩倉線については早期事業化に向けて、今後、事業主体である愛知県と整備手法や着手時期などの調整を実施する必要がある。岩倉駅周辺の駐輪場については、長期間放置されている自転車等を整理することにより、既設駐輪場の効率化を図り、駐輪スペースを確保している。
今後の取組		・石仏駅東側の改札口設置及びホーム拡幅については、引き続き名古屋鉄道に対して、尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通して要望するとともに、機会を捉えて名古屋鉄道事業部へ要望を行っていく。 ・都市計画道路桜通線は平成26年度に事業着手する予定であり、同調して整備が必要となっている江南岩倉線についても事業主体である愛知県とともに平成24年度に策定した岩倉駅東地区まちづくり構想に基づき事業化に向けた協議を開始する。 ・既存の自転車駐車場が効率的に利用されるように努める。

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	岩倉駅周辺駐輪場の放置自転車撤去台数	台	H21	508	515	629	—	450
	岩倉駅周辺駐輪場の整備台数	台	H21	2,191	1,695	1,695	—	2,250

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	(1)	名鉄犬山線の輸送サービスの向上及び駅施設の整備促進			主管課	企画財政課					
		評価	評価理由								
評価及び理由	○	石仏駅東側の改札口設置については、引き続き尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通して名古屋鉄道に対し要望した。平成24年度は直接、名古屋鉄道事業部へも要望を行った。									
		指標名	単位	基準値		現状値			目標値		
指標情報				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)		
	1日あたり乗降人員(岩倉駅・石仏駅・大山寺駅)の合計	人	H21	27,977	27,965	—	—	29,000			
事務事業		事業種類	新規 主要 マニフェスト 実計 予算 その他	投入コスト			今後の方向性	重点化			
				事業費	人件費	計					
1	尾北地区広域交通網対策連絡協議会事務			25千円	58千円	83千円	維持	—			
				0千円	77千円	77千円	維持	—			
2	石仏駅関連要望事務										
3											
個別施策	(2)	岩倉駅東駅前周辺の交通の円滑化			主管課	都市整備課					
		評価	評価理由								
評価及び理由	△	都市計画道路桜通線は、平成25年度の事業認可を予定しているが、江南岩倉線については早期事業化に向けて、今後、事業主体である愛知県と整備手法や着手時期などの調整を実施する必要がある。									
		指標名	単位	基準値		現状値			目標値		
指標情報				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)		
	都市計画道路桜通線の整備率	%	H21	—	1.0	1.5	—	20.0			
事務事業		事業種類	新規 主要 マニフェスト 実計 予算 その他	投入コスト			今後の方向性	重点化			
				事業費	人件費	計					
1	都市計画道路桜通線街路改良事業			6,920千円	1,934千円	8,854千円	拡大	○			
2											
3											

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

				【評価日】 H25 年 5 月 1 日			
章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち		節	1	交通対策	
基本施策	1	交通対策		単位施策	(2)	バス等の利便性の向上	
主管課		企画財政課	関連課		—	総合計画書 ページ番号	162
現状と課題	岩倉駅を中心に東口からは小牧駅行き、西口からは一宮駅行きのバス路線があり、1日の運行本数は2方面合わせて164本となっており、また小牧方面については、岩倉団地経由及び八ヶ岳経由があり、市民の重要な足となっている。しかしながら、運行本数はH23年度と比べると微減しており、現行路線の維持・充実が課題である。 市南西部の新たなバス路線として、尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通じて、名鉄バス九日市場線(尾張一宮駅前～九日市場)について、北島町を経由して岩倉駅までの延長を要望している。 高齢者や身体の不自由な人等の移動手段の確保及び地域の活性化のため、コミュニティバスやタクシー等新たな交通手段のあり方を含めた総合的な交通対策の検討が必要である。						

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由				
	○	尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通じて、名鉄バスに市内循環バスの新設、小牧駅方面の増便、九日市場線の延長等を要望している。本市の総合的な交通対策のあり方を検討するため、公共交通実態調査を行った。				
今後の取組	民間路線バスの更なる充実のため、尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通じて、名鉄バスに九日市場線の延長を要望していく。 公共交通実態調査の結果、高齢社会に対応した総合交通対策として、デマンド型交通の導入を検討するため、地域公共交通会議において、国・県・バス・タクシー事業者等関係機関と調整を進めていく。					

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値		目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)
	路線バスの1日の運行本数	本	H22	167	166	164	—
	路線バスの1日の運行本数に対して満足している市民の割合	%	H22	76.1	—	—	77.0

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策		①	民間路線バスの維持・充実			主管課	企画財政課				
評価及び理由		評価	評価理由								
		○	尾北地区広域交通網対策連絡協議会を通じて、名鉄バスに市内循環バスの新設、小牧駅方面の増便、九日市場線の延長等を要望している。								
指標情報				単位	基準値			現状値		目標値	
					年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)	
事務事業	路線バスの1日の運行本数			本	H22	167	166	164	—	170	
	事務事業名				事業種類			投入コスト		今後の方向性	
	新規	主要	マニアック		実計	予算	その他	事業費	人件費	計	
1	尾北地区広域交通網対策連絡協議会	—	—		○	—	—	25千円	58千円	83千円	
2											
3											
個別施策		②	高齢社会に対応した総合交通対策の検討			主管課	企画財政課				
評価及び理由		評価	評価理由								
		○	本市の総合的な交通対策のあり方を検討するため、公共交通実態調査を行った。								
指標情報	指標名			単位	基準値			現状値		目標値	
	公共交通実態調査の実施				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)	
事務事業	事務事業名				事業種類			投入コスト		今後の方向性	
	新規	主要	マニアック		実計	予算	その他	事業費	人件費	計	
1	(仮称)デマンド交通事業	—	—		—	—	○	0千円	1,547千円	1,547千円	
2	公共交通実態調査	—	—		—	—	○	300千円	497千円	797千円	
3	尾北地区広域交通網対策連絡協議会	—	—		—	—	○	25千円	58千円	83千円	

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4 快適で利便性の高い魅力あるまち	節	1 交通対策		
基本施策	1 交通対策	単位施策	(3) 人にやさしい移動環境の整備		
主管課	都市整備課	関連課	－	総合計画書 ページ番号	162
現状と課題	<p>・岩倉駅東西地下連絡道及び岩倉駅構内のエレベーター設置が完了し、岩倉駅周辺においても人にやさしい街づくり計画等に基づき人にやさしい道ネットワーク整備が進むなど、安全で快適な歩行空間の創出が図られているが、市内では依然として段差解消や点字ブロックの設置が必要な道路が多数存在している。</p> <p>・市内の公共交通施設でも、ユニバーサルデザインの導入により、施設の整備、改善を実施しているが、構造的に対応が不可能な場合の対応等の検討が必要となっている。</p>				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由		評価	評価理由
○	新たに整備される都市計画道路等については、道路構造令に基づき整備を行っている。平成7年度に人にやさしいまちづくり計画を策定しており、平成23年度に技術基準の見直しもを行い、新設される施設については基準に従い整備を行っている。平成24年度は市民プラザにエレベーターを設置した。		
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の自転車、歩行者交通量を踏まえ、駅周辺など優先的に整備が必要な箇所を選定していく。 ・新設される公共施設については、市条例や人にやさしいまちづくり計画の整備基準に従い整備を行う。 ・既存の施設で物理的に改善が不可能な施設も多数ある。ハード面での整備が困難な場合は、人的介助などソフト面で対応できるよう心のユニバーサルデザインの啓発活動を市民団体と協働し推進する。 		

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策		①	歩行空間のバリアフリー化等の推進			主管課		都市整備課							
評価及び理由		評価	評価理由												
		○	新たに整備される都市計画道路等については、道路構造令に基づき整備を行っている。なお、過去に整備された道路については、歩道の段差解消等の改良が必要な箇所が存在するため、今後、計画的な整備が必要である。												
指標情報	指標名					単位	基準値		現状値			目標値			
	歩行空間がバリアフリー化されてる都市計画道路の数						年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)			
						路線	H21	3	3	3	—	4			
事務事業	事務事業名			事業種類			投入コスト			今後の方向性		重点化			
				新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計			
	1														
	2														
	3														

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	1	交通対策
基本施策	1	交通対策	単位施策	(4)	跨線橋の整備による東西交通の円滑化
主管課	都市整備課		関連課	一	総合計画書 ページ番号
現状と課題	<p>・北島藤島線は、岩倉市北島町から小牧市藤島町に至る都市計画道路であり、平成24年度から名鉄犬山線の跨線橋部分を含む延長約560m区間の工事を実施している。平成24年度は埋蔵文化財調査を実施するとともに名鉄犬山線西側の橋台工事に着手し、平成25年度は犬山線両側の橋脚の工事を含む線路西側の橋脚工事を実施予定である。なお、完成供用は平成28年度を目指している。</p> <p>・平成24年度は、補助金(社会資本整備総合交付金)が要望額を下回ったため事業費を縮減した。</p>				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	重点的な予算配分によって早期完成を目指しているが、補助金の減額により計画どおり実施できなかった。
今後の取組	-補助金等の動向を注視し、計画的かつ効率的な工事進捗を図る。	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	2	道路
基本施策	2	道路	単位施策	(1)	円滑に移動できる幹線道路整備
主管課	都市整備課	関連課	—	総合計画書 ページ番号	165
現状と課題	・市内の都市計画道路は14路線(国道1、県道7、市道6)あり、平成23年度末時点での整備率は64.3%である。整備には用地買収が必要不可欠であり、買収後の土地利用計画を勘案する必要があるとともに、計画的な代替地の確保が課題となっている。				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	都市計画道路を整備するための必要な用地買収を進めるとともに、計画的な整備に努めている。
今後の取組	<p>・都市計画道路の整備については、現在工事中である北島藤島線以外の路線は、今後、数年間は用地買収が中心となる。投資効果の早期発現のため、部分供用が図れるよう計画的な用地買収を行っていく。</p>	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

○ 十年施策の成果目標(総合計画に記載してある基本施策及び十年施策の目標を記載)							
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値		
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)
	道路の広さに満足している市民の割合	%	H20	66.8	—	—	—
	都市計画道路の整備率	%	H21	61.9	64.3	64.3	—

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4 快適で利便性の高い魅力あるまち	節	2 道路
基本施策	2 道路	単位施策	(2) 安全・快適な道路環境の整備
主管課	都市整備課	関連課	－
現状と課題			総合計画書 ページ番号 166

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	通学路のカラー塗装化は完了したが、その他幹線道路等における歩行者の安全確保や防災対策については今後も継続して検討が必要である。
今後の取組	<p>・通学路の歩道整備については、道路幅員や交通規制などの制約により歩道を設置することが困難な場合は、路肩のカラー塗装による簡易整備を行っており平成24年度中に全小学校の整備が完了した。今後、通学路の安全確保について効果検証を行い、必要な対策を実施する。</p>	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

単位施策評価シート(平成24年度実施施策)

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	2	道路
基本施策	2	道路	単位施策	(3)	道路・橋梁の維持管理の充実
主管課		都市整備課	関連課	—	総合計画書 ページ番号 166
現状と課題		・市民生活に直接影響する道路及び橋梁を適正に維持管理することは必要不可欠なことである。また、生活道路だけでなく都市間交通網の一翼を担っている幹線道路の維持補修については、大型車交通量の増加に伴い沿線住民への騒音、振動の原因ともなることから、損傷箇所の早期発見と計画的な修繕計画に従い、最小経費で最大効果を実現することが必要となっている。 ・道路は、災害時における避難路や物資等の輸送路としての役割を持っており、とりわけ橋梁の損壊は、道路を遮断するとともに、復旧に要する時間と費用も超大となることから橋梁の長寿命化を図ることが必要となっている。			

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	橋梁は、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定するため、平成24年度に点検を実施した。幹線道路の舗装修繕は、平成25年度に路面性状調査を実施し、計画的に修繕を進めていく。日常の道路パトロール等により、道路損傷箇所の早期発見・早期補修に努めている。
今後の取組		・市内道路の骨格を形成している幹線道路の維持修繕については、交通量の増加とともに経年劣化が著しく、限られた予算の中で全体を対応することには限界がある。このため、路面性状調査を実施し整備路線の優先順位及び整備方法を決定することにより、計画的な修繕を実施する。 ・橋梁は、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定し、計画的な維持管理に努める。 ※路面性状調査・舗装のわだちや亀裂等の状況を数値化する調査。

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値		目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)
	橋梁長寿命化修繕計画策定	—	H20	—	—	点検	—
	まわりの道路の舗装状況に満足している市民の割合	%	H20	85.5	—	—	87.0

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策		①	計画的な維持管理の推進				主管課	都市整備課			
評価及び理由		評価	評価理由								
		○	橋梁は、平成25年度に橋梁長寿命化修繕計画を策定するため、平成24年度に点検を実施した。幹線道路の舗装修繕は、平成25年度に路面性状調査を実施し、計画的に修繕を進めていく。								
指標情報	指標名				単位	基準値		現状値		目標値	
	橋梁長寿命化修繕計画策定				—	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
事務事業	幹線道路舗装修繕率				%	H20	—	—	点検	—	策定
事務事業	事務事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化
	新規	主要	マニアク	実計	予算	その他	事業費	人件費	計		
	1 橋梁長寿命化修繕計画策定事業	—	○	—	○	○	7,726千円	348千円	8,074千円	維持	○
	2 舗装側溝整備事業	—	○	—	○	○	167,918千円	3,094千円	171,012千円	維持	—
	3										

個別施策		②	危険箇所の早期発見と早期維持補修			主管課	都市整備課							
評価及び理由		評価	評価理由											
		○	日常の道路パトロール等により、道路損傷箇所の早期発見・早期補修に努めている。											
指標情報	指標名				単位	基準値		現状値		目標値				
	道路舗装等に対する地元からの要望箇所数				か所	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)			
事務事業						H22	42	30	31	—	25			
	事務事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化			
	新規	主要	マニアク	実計	予算	その他	事業費	人件費	計					
1 公共施設維持管理費	—	○	—	○	○	—	4,472千円	290千円	4,762千円	維持	—			
2 舗装側溝整備事業	—	○	—	○	○	—	167,918千円	3,094千円	171,012千円	維持	—			
3 道路維持費	—	○	—	○	○	—	38,186千円	851千円	39,037千円	維持	—			

個別施策		③	危険箇所の早期発見と早期維持補修				主管課	都市整備課			
評価及び理由		評価	評価理由								
		○	日常の道路パトロール等により、道路損傷箇所の早期発見・早期補修に努めている。								
指標情報	指標名				単位	基準値		現状値		目標値	
	道路舗装等に対する地元からの要望箇所数				か所	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
事務事業						H22	42	30	31	—	25
	事務事業名		事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化
	新規	主要	マニアク	実計	予算	その他	事業費	人件費	計		
1 公共施設維持管理費	—	○	—	○	○	—	4,472千円	290千円	4,762千円	維持	—
2 舗装側溝整備事業	—	○	—	○	○	—	167,918千円	3,094千円	171,012千円	維持	—
3 道路維持費	—	○	—	○	○	—	38,186千円	851千円	39,037千円	維持	—

単位施策評価シート(平成24年度実施施策)

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 23 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	3	市街地整備
基本施策	3	市街地整備	単位施策	(1)	中心市街地の整備
主管課		都市整備課	関連課		商工農政課 総合計画書 ページ番号 169
現状と課題	岩倉駅東地区では、岩倉駅東地区北街区市街地再開発事業により複合施設の再開発ビルや駅前広場、都市計画道路北通線が完成し、本市の玄関口としての整備が完了した。その一方で北街区を除く駅東地区では、依然として道路の幅員が狭い箇所や老朽化した低層木造住宅が密集し、旧来の市街地のまま今日に至っており、都市防災機能の強化や居住環境の向上などが課題となっている。 中心市街地の発展の側面だけでなく都市防災機能向上のためにも都市計画道路の早期整備が必要である。 居住環境の整備として、都市型住宅の供給や建築物の整備誘導を行うことが必要であり、建物の共同化や区画整理事業などによって地区の再生は図れるが、いずれも個人の権利に関するものであり、北街区においても25年以上の歳月を費やしている。まずは、地区内にある都市計画道路の整備が必要である。				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	中心市街地における都市防災機能向上や居住環境を整備するためには、都市計画道路の整備を計画的に推進する必要がある。まちなか空き店舗出店者支援事業は、平成24年度から補助対象を「特定の契約者が主に利用することとなる事業」は除くこととしたが、初めて駅東地区への出店があった。
今後の取組	都市計画道路桜通線及び江南岩倉線の早期整備を図るとともに、街路整備に合わせた沿道の計画的な建築物の整備誘導が必要である。まずは、都市計画道路桜通線街路改良事業を計画的に推進していく。 都市計画道路沿線での建物の共同建替えや都市再生区画整理事業の実施は、地域の住民、事業者、地権者が主体的なまちづくりに取り組むなかで協議し推進していく。 まちなか空き店舗出店者支援事業により岩倉駅前活性化を図るとともに、人材や組織の育成のため商工会の支援に努める。	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
	岩倉駅東地区の街並みが魅力的であると感じている市民の割合	%	H22	24.4	—	—	—	26.0

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	岩倉駅東地区市街地整備の促進	主管課	都市整備課				
	評価		評価理由					
評価及び理由	△	中心市街地の良好な居住環境の整備と都市防災機能の向上を図るため、都市計画道路桜通線及び江南岩倉線の早期整備着手が必要である。						
指標情報	指標名			単位	基準値		現状値	
	都市計画道路桜通線の整備率			%	H21	—	1.0	1.0
事務事業	事務事業名		事業種類			投入コスト		今後の方向性 重点化
	新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費 人件費 計	
	1	都市計画道路桜通線街路改良事業	—	○	○	○	6,920千円 1,934千円 8,854千円	拡大 ○
	2							
	3							

個別施策	②	街なか居住の推進	主管課	都市整備課				
	評価		評価理由					
評価及び理由	△	街なか居住の推進には、都市計画道路整備に合わせた沿道の建物建替え等がひとつの契機となるため、未整備である都市計画道路の整備推進が必要である。						
指標情報	指標名			単位	基準値		現状値	
	都市計画道路桜通線の整備率			%	H21	—	1.0	1.0
事務事業	事務事業名		事業種類			投入コスト		今後の方向性 重点化
	新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費 人件費 計	
	1	都市計画道路桜通線街路改良事業	—	○	○	○	6,920千円 1,934千円 8,854千円	拡大 —
	2							
	3							

単位施策評価シート(平成24年度実施施策)

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4 快適で利便性の高い魅力あるまち	節	3 市街地整備
基本施策	3 市街地整備	単位施策	(2) 既成住宅市街地の再生
主管課	都市整備課	関連課	—
現状と課題			総合計画書 ページ番号 170

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	未利用地の活用を進めるため、市道としての寄附の受付及び私道整備の補助を実施した。現状では、地区の住民、事業者、地権者が主体となり、まちづくりに取り組む地区がない。
今後の取組	・地元の要請により、将来のまちづくりに協働で取り組むことには意義があり、要請があった場合には積極的に参加していきたい。現状では、住民、事業者、地権者が主体となり、まちづくりに取り組む地区がない。今後、まちづくりの課題を有する地区（駅東地区）において、エリアマネジメントが導入できるのか検討していく。 ※エリアマネジメント…住民・事業者・地権者等が主体性を発揮しながら街並みの美化や街区全体を統一的に運営するなど、地域における良好な環境や地域の価値を維持向上させる取組。	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

主な施策の実施状況(総合評価)と記載している主な施策及び主な施策の指標を記入							
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値		
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

単位施策評価シート(平成24年度実施施策)

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4 快適で利便性の高い魅力あるまち	節	3 市街地整備
基本施策	3 市街地整備	単位施策	(3) 計画的な市街地整備・誘導
主管課	都市整備課	関連課	—
現状と課題	<p>・本市は、県内でも人口密度が高いまちであり、居住環境を向上させていくためには、一定面積の市街化区域拡大を検討することが求められている。このことは、住宅都市、生活都市として本市を持続的に発展させていく観点からも重要である。また、本市のバランスある発展のためには本市の地理的条件を最大限に生かしながら一定の産業用地を確保することも重要である。</p> <p>・市街化区域を拡大するにあたっては、土地区画整理事業等による基盤整備が条件となることから、地元住民の機運向上や地権者の合意を図るために、関係者の意向を把握する必要がある。</p>	総合計画書 ページ番号	170

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	平成23年度に愛知県で条例が制定された市街化調整区域内の住宅建築の規制緩和を県と協議し、地元説明会も行い、規制緩和ができる区域を4地区指定することができた。市街化区域の拡大には、土地所有者の基盤整備に対する合意形成等の諸条件が整うことが必要であり、現段階では困難である。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・民間・住宅地の開発・供給促進や土地区画整理事業等については、地権者の合意や民間活力によるものがほとんどであり、行政として主体的な促進は困難であり、間接的な取り組みとなる。 ・民間からの相談、情報については地元へ提供するとともに、地元の勉強会の開催があれば参加し情報の共有化を図る。 	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

主な施策の実施状況(総合評価)と記載している主な施策及び主な施策の指標を記入							
指標情報	指標名	単位	基準値		現状値		
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

単位施策評価シート(平成24年度実施施策)

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 24 日

章	4 快適で利便性の高い魅力あるまち	節	4 住宅
基本施策	4 住宅	単位施策	(1) 住まいの安全・安心の確保
主管課	都市整備課	関連課	介護福祉課 総合計画書 ページ番号 173
現状と課題	<p>・本市は、大都市名古屋の周辺都市として交通の利便性にも恵まれた立地条件から、これまで住宅都市として発展し、UR都市機構が管理・運営する岩倉団地を始めとして、市・県営等の公的住宅や民間による分譲や賃貸住宅の建設が、昭和40年代以降活発に行われてきた。また、平成を迎えて以降は、岩倉駅周辺市街地を中心に中高層の分譲・賃貸マンションの建設が盛んに行われるようになった。</p> <p>・高齢化が進む中、市営住宅では退去時に合わせてバリアフリー化のための改修を進めているが、今後も高齢者や障害者に配慮した住宅改修が求められている。その他の公的住宅や民間住宅についても、高齢者や障害者のための住宅改修の促進や支援が必要となっている。</p> <p>・本市では、平成19年度に耐震改修促進計画を策定し、平成27年度を目指して公共施設をはじめ民間木造住宅などの耐震化対策を行ってきている。しかし、改修費用の負担が困難な高齢者も多く、費用負担を軽減する施策を推進する必要がある。</p>		

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	民間住宅の耐震化は、助成制度の周知により、耐震診断の件数は増加しているが、改修費用が負担となり、改修が進んでいない。高齢者や障害者が制度を利用し、リフォームヘルパーの助言等を受け適切な住宅改修がされた。
今後の取組	<p>・現行の助成制度は、住宅全体の耐震改修にかかる助成制度となっているが、1戸の住宅を改善しようと個人が負担する費用は相当な負担額となる。県内的一部の市では、耐震シェルターや耐震ベッドに助成をしている自治体もあるため、本市においても、その有効性などを検討する。</p> <p>・高齢者や障害者のための住宅改修や住み替えのための支援を継続して実施していく。</p>	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策		(3)	住宅改善への支援				主管課	介護福祉課				
評価及び理由		評価	評価理由									
		○	高齢者や障害者が制度を利用し、リフォームヘルパーの助言等を受け適切な住宅改修がされた。									
指標情報	指標名						単位	基準値	現状値		目標値	
	高齢者住宅改善制度利用件数						件	年度 H21	基準値 0	(H23) 3	(H24) 4	(H27) —
	障害者住宅改善制度利用件数						件	年度 H21	基準値 1	(H23) 2	(H24) 1	(H27) —
事務事業	事務事業名			事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化
				新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計
	1	高齢者住宅改善費助成事業	—	○	—	○	○	○	—	834千円	97千円	931千円
	2	障害者住宅改善費助成事業	—	—	—	○	○	○	—	500千円	39千円	539千円
個別施策		(4)	高齢者等の住み替えの支援				主管課	介護福祉課				
評価及び理由		評価	評価理由									
		○	高齢者等の住み替えのための制度を周知している。									
指標情報	指標名						単位	基準値	現状値		目標値	
	高齢者等住み替え制度利用件数						件	年度 H21	基準値 3	(H23) 1	(H24) 0	(H27) —
事務事業	事務事業名			事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化
				新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計
	1	高齢者等住み替え支援事業	—	—	—	○	○	○	—	0千円	0千円	0千円
	2											
個別施策		(4)	高齢者等の住み替えの支援				主管課	介護福祉課				
評価及び理由		評価	評価理由									
		○	高齢者等の住み替えのための制度を周知している。									
指標情報	指標名						単位	基準値	現状値		目標値	
	高齢者等住み替え制度利用件数						件	年度 H21	基準値 3	(H23) 1	(H24) 0	(H27) —
事務事業	事務事業名			事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化
				新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計
	1	高齢者等住み替え支援事業	—	—	—	○	○	○	—	0千円	0千円	0千円
	2											
個別施策		(4)	高齢者等の住み替えの支援				主管課	介護福祉課				
評価及び理由		評価	評価理由									
		○	高齢者等の住み替えのための制度を周知している。									

単位施策評価シート(平成24年度実施施策)

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 25 日

章	4 快適で利便性の高い魅力あるまち	節	4 住宅
基本施策	4 住宅	単位施策	(2) 優良な住宅供給支援
主管課	環境保全課	関連課	都市整備課 総合計画書 ページ番号
現状と課題	<p>・住宅は、生活を営む上で最も基礎となる衣食住の一端を担っており、都市空間やまちの景観を構成する基本的な要素となっており、本市が質の高い住環境を整えていくためには、高齢化対策、耐震化対策、地球環境に配慮した住宅供給、子育て・住宅相談支援、民間大規模開発による周辺への配慮など、地域や時代が求める住宅施策を推進する必要がある。</p> <p>・また、地球温暖化防止の観点のみならず、東日本大震災以降特に省エネルギーの面からも再生可能エネルギーへの期待感が高まっており、省エネルギー・省資源に配慮した住宅の整備が求められている。</p>		

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	住宅用太陽光発電システム設置費補助事業を拡充している。愛知県住宅供給公社やUR都市機構の入居者募集案内を窓口に設置し、相談者に情報提供している。
今後の取組		<ul style="list-style-type: none"> ・環境配慮のために住宅用太陽光発電システムの利用を促進するため、設置費補助を継続する。 ・住宅(建築)関係の事業者の協力を得ながら、省エネルギー・省資源に配慮したエコ住宅などの住まいに関する啓発や情報の提供に努める。

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	4	住宅
基本施策	4	住宅	単位施策	(3)	魅力ある住環境の形成
主管課	都市整備課	関連課	—	総合計画書 ページ番号	174
現状と課題	<p>本市が質の高い居住環境を整えていくためには、高齢化対策、耐震化対策、地球環境に配慮した住宅、子育てのしやすい住宅等の供給促進や住宅に関する相談への対応、民間大規模開発による周辺への配慮など、社会のニーズに合わせた住宅施策を推進することが課題となっている。</p>				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	△	住宅マスターPLANについて、現段階では策定を予定していない。
今後の取組	<p>・住宅マスターPLANについて、公営住宅等の建替計画がある自治体は建設補助を得るため策定する必要があるが、市営住宅の建替を計画した段階で策定していくことになる。今後は、県内他市町の状況を注視していく。</p>	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策		①	住宅マスター・プランの策定			主管課		都市整備課			
評価及び理由		評価	評価理由								
		△	住宅マスター・プランについて、現段階では策定を予定していない。								
指標情報	指標名			単位	基準値		現状値			目標値	
					年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)	
	住宅マスター・プラン策定			計画	H21	—	—	—	—	策定	
事務事業	事務事業名			事業種類			投入コスト			今後の方向性	
				新規	主要	マニアック	実計	予算	その他		
	1										
	2										
	3										

個別施策	(2) 住宅市街地の居住環境の向上(「市街地整備」の再掲)	主管課	一
評価及び理由	評価	評価理由	

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	5	景観形成
基本施策	5	景観形成	単位施策	(1)	良好な景観形成を進める制度等の確立
主管課		都市整備課	関連課	—	総合計画書 ページ番号
現状と課題		本市では、平成3年度に策定した都市景観形成基本計画の重点整備地区に選定してある岩倉駅西地区の景観形成、公園・道路等の景観整備や五条川沿線整備を進めるなど、潤いとやすらぎのあるまちづくりや環境づくりに努めてきた。 今後は、五条川や市街地周縁部の田園風景、中心市街地など、岩倉らしい原風景の保全や岩倉の顔となる景観づくりを市民の理解と協力を得ながら進めていくために、景観形成の方針や施策を検討する必要がある。			177

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由					
	△	景観法に基づく景観計画及び景観条例については、県内各市の状況を見ると歴史的財産のある市に限って策定及び制定している傾向にあり、本市においては、その必要性について計画期間内で検討していく。					
今後の取組	五条川や市街地周縁部の田園風景、中心市街地など、岩倉らしい原風景の保全や岩倉の顔となる景観づくりについて、市民の理解と協力を得ながら検討していく。						

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
景観計画策定	計画	H21	—	—	—	—	—	策定

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	景観法に基づく景観計画の策定				主管課	都市整備課							
	評価	評価理由												
評価及び理由	△	県内各市の状況を見ると歴史的財産のある市に限って計画を策定している傾向にあり、他の市町においては計画を策定していない。本市においては、その必要性について計画期間内で検討していく。												
指標情報	指標名				単位	基準値		現状値		目標値				
景観計画策定	計画				H21	—	—	—	—	策定				
事務事業	事業事業名				単位	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)				
1														
2														
3														
個別施策	②	景観条例の制定検討				主管課	都市整備課							
評価及び理由	評価	評価理由												
△	県内各市の状況を見ると歴史的財産のある市に限って景観計画を策定し景観条例を制定している傾向にあり、他の市町においては、条例を制定していない。本市においては、その必要性について計画期間内で検討していく。													
指標情報	指標名				単位	基準値		現状値		目標値				
事務事業	事業事業名				単位	年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)				
1														
2														
3														

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	5	景観形成
基本施策	5	景観形成	単位施策	(2)	わかりやすく、岩倉らしい景観の創出
主管課		都市整備課	関連課	企画財政課、環境保全課、商工農政課	総合計画書 ページ番号 178
現状と課題		・市民の誇りとなるような親しみがあり美しい景観の形成という観点から、五条川の水辺環境の保全・整備や五条川桜並木の保全・再生、五条川沿いの散策環境の整備・充実を進めていく必要がある。 ・農業振興地域整備計画に基づき、農地の保全に努めること、また、緑の基本計画に基づき、自然生態園周辺や市域に残る既存の緑の保全に努めることなど、市民の共有財産ともいえる地域の良好な景観の維持・向上を市民との協働によって進めていくため、景観意識の向上や美化活動の推進を図っていくことが課題である。			

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
O	市民と市との協働により、五条川の水辺環境の保全・整備や五条川桜並木の保全等の整備・充実に努めている。また、農地や自然生態園周辺や社寺境内など既存の緑の保全に努めている。	
今後の取組	・平成24年度から取り組んでいる五条川自然再生整備等基本計画第3次計画を策定し、地域と自然が共生できる場として五条川の保全・整備に努める。 ・市民との協働により、五条川の水辺環境の保全・整備や五条川桜並木の保全・再生、五条川沿いの散策環境の整備・充実を進める。 ・田園風景を保全するため、農地の保全・活用に努めるとともに、自然生態園周辺や社寺境内の樹木など既存の緑の保全に努める。	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値		目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)
五条川自然再生整備等基本計画策定	—	H21	—	—	策定中	—	策定

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	公共施設等のデザイン向上による先導的な景観形成	主管課	都市整備課			
	評価	評価理由					
評価及び理由	△	ランドマークとなる公共施設のデザインは、景観形成の重要な要素であるため、新たに建設される場合は検討する。					
	指標名	単位	基準値	現状値			
指標情報			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)
							(H27)
事務事業	事務事業名	事業種類	投入コスト			今後の方向性	重点化
	新規	主要	マニアック	実計	予算	その他	事業費 人件費 計
1							
2							
3							
個別施策	②	わかりやすい系統的なサインの整備と適正管理	主管課	企画財政課			
評価及び理由	評価	評価理由					
	O	まちの中を歩きやすく、わかりやすいサインの整備に努めるとともに、適正な管理に努めている。					
指標情報	指標名	単位	基準値	現状値	目標値		
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)
事務事業	事務事業名	事業種類	投入コスト			今後の方向性	重点化
	新規	主要	マニアック	実計	予算	その他	事業費 人件費 計
1							
2							
3							

個別施策		③	緑の保全・育成（「公園・緑地」の再掲）	主管課	-						
評価及び理由		評価	評価理由								
指標情報	指標名				単位	基準値	現状値		目標値		
					年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)	
事務事業	事務事業名			事業種類		投入コスト			今後の方向性	重点化	
				新規	主要マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計
				1							
				2							
			3								

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 18 日

章	4 快適で利便性の高い魅力あるまち	節	5 景観形成
基本施策	5 景観形成	単位施策	(3) 身近な景観づくり
主管課	都市整備課	関連課	－
現状と課題		<p>・五条川や市街地周縁部の田園風景、中心市街地など、岩倉らしい原風景の保全や岩倉の顔となる景観づくりを市民の理解と協力を得ながら進めていくために、景観形成の方針や施策を策定していく必要がある。</p> <p>・また、市民の共有財産ともいえる地域の良好な景観の維持・向上を市民との協働によって進めていくため、景観意識の向上や美化活動の推進をしていくことが重要である。</p> <p>・違反屋外広告物の取締りについては、平成19年度から違反広告物簡易除却活動員制度を実施し、平成24年度現在、8団体52名が登録し、市と協働で街の美化活動に取り組まれている。</p>	

2 単位施策の評価と今後の取組

二 単位施策の評価と今後の取組		
評価及び理由	評価	評価理由
	○	市民活動団体と協働で違反広告物の撤去を行っており、掲示物が減少している。また、快適で潤いのある都市景観を創出するため、市民との協働により花のあるまちづくり事業を推進している。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・違反広告物簡易除却活動員と協働で、街の景観を維持していくために屋外広告物の適正な規制・誘導を図る。 ・街の美化・景観を向上させるため、市民団体と協働で花のあるまちづくり事業を推進していく。 	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	6	上水道
基本施策	6	上水道	単位施策	(1)	安心で安定的な供給
主管課		上下水道課	関連課	—	総合計画書 ページ番号 181
現状と課題	<p>・市民に安全な水を安定的に供給するためには、今後、更新時期を迎える水道施設について、更新計画に従って計画的な施設の更新を着実に実施していくことが重要である。 ・老朽管については、耐震性が低く、災害時に多大な被害が想定され、漏水事故の主な原因にもなり、安定給水と有収率の向上の観点から布設替え等の更新を計画的に行い、耐震化を図ることが重要である。 ・美味しい、安全な水を確保するためには、揚水量、地下水位、水質等の管理を適正に行うとともに、水源施設の適切な浄水処理や水質監視の強化を図り、水源水質の保全に努めることが重要である。</p>				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	老朽管対策の配水管整備について、第3期配水管整備事業計画に基づいて、着実に整備事業を進めている。整備の進捗状況は、平成19年度から平成28年度までの10年間で、全体延長23.8km、総事業費873,000千円で整備する計画で、平成24年度末で、約12.5kmが完了し、整備率が52.5%である。今後、整備率向上に努める。
今後の取組	<p>・自己水源は、安定給水や危機管理面でも有用な資源であることから、更新時期を迎える水道施設について、今後も更新計画に沿った施設の更新を進めていく。 ・老朽管対策として、平成18年9月策定の第3期配水管整備事業計画(平成19年度～平成28年度)に基づき、水圧不足解消のための配水管拡張やブロック化を進めているが、引き続き、計画的な配水管設備事業を着実に進めていく。 ※総合計画に記載されている単位施策の指標は、平成21年度の基準年度のものである。平成23年度策定の岩倉市水道ビジョンにおいて、有収率の見直しを行った。(平成27年度 93.7%→91.3%)</p>	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値		目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)
	有収率	%	H21	92.7	90.9	90.9	—
							93.7

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	水資源の確保			主管課	上下水道課						
	評価	評価理由										
評価及び理由	○	平成24年度末現在の自己水配水量(依存率)は36.0%で、平成23年度の35.7%に比べ、0.3ポイント上回っている。										
指標情報	指標名	単位	基準値			現状値			目標値			
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)				
	自己水配水量(依存率)	%	H21	35.8	35.7	36.0	—	37.0				
事務事業	事務事業名	事業種類	投入コスト			今後の方向性	重点化					
			新規	主要	マニアック			実計	予算	その他		
	1 配水施設機械設備等更新事業	—	—	—	○	○	—	13,282千円	522千円	13,804千円	維持	—
	2											
3												

個別施策	②	水道施設の計画的な整備・更新			主管課	上下水道課						
	評価	評価理由										
評価及び理由	○	有収率は、漏水件数に左右され、平成24年度末現在の漏水件数は38件で、平成23年度の51件に比べ13件減少した。また、平成24年度末現在の有収率は90.9%で、平成23年度末と同様であった。										
指標情報	指標名	単位	基準値			現状値			目標値			
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)				
	有収率	%	H21	92.7	90.9	90.9	—	93.7				
事務事業	事務事業名	事業種類	投入コスト			今後の方向性	重点化					
			新規	主要	マニアック			実計	予算	その他		
	1 第3期配水管整備事業	—	○	—	○	○	—	64,905千円	928千円	65,833千円	維持	○
	2 配水管設備事業(公共下水道関係)	—	—	—	○	○	—	6,142千円	348千円	6,490千円	維持	—
3 積算システムの導入	○	—	—	—	—	—	0千円	0千円	0千円	拡大	—	

個別施策		(3)	水質管理の充実			主管課	上下水道課					
評価及び理由		評価	評価理由									
		◎	水質管理は、水質の検査を毎日及び定期的に実施し、水質を管理している。検査結果は、すべて基準に適合している。									
指標情報	指標名					単位	基準値	現状値		目標値		
	水質検査基準適合率					%	年度 H21	基準値 100.0	(H23) 100.0	(H24) 100.0	(H25) —	(H27) 100.0
事務事業	事務事業名			事業種類			投入コスト			今後の方向性	重点化	
				新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計
	1 配水施設等運転管理業務	—	—	—	○	○	○	—	—	18,690千円	522千円	19,212千円
	2 水質検査等委託料	—	○	—	—	—	○	—	—	9,660千円	46千円	9,706千円
	3 配水場等機器保守点検委託料	—	—	—	—	—	○	—	—	2,835千円	46千円	2,881千円
										維持	—	

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 16 日

章	4 快適で利便性の高い魅力のあるまち	節	6 上水道
基本施策	6 上水道	単位施策	(2) 災害対策の充実
主管課	上下水道課	関連課	－
現状と課題	<p>・大規模な地震災害での断水被害を最小限に抑えるため、水道施設等の耐震化が重要な課題である。特に、基幹管路や病院、避難所などの重要施設への配水管については、優先的に耐震管への更新が必要である。</p> <p>・災害発生後の被害を最小限に抑え、速やかな応急復旧に向けた応急給水用資器材の整備と近隣事業体や関係機関との連携強化により、応急給水体制の強化を図る必要がある。</p>		
	総合計画書 ページ番号	181	

2 単位施策の評価と今後の取組

平成24年度の評価と今後の取組		
評価及び理由	評価	評価理由
	○	平成24年度に岩倉市水道ビジョンの計画を基に、基幹管路の耐震化計画を策定し、今後、管路の耐震化率の向上を図っていく。応急給水訓練について、市の防災訓練時と愛知県との共同による支援連絡管の訓練を毎年2回実施している。また、非常用飲料水容器を毎年購入し、緊急時のために備蓄している。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹管路の耐震化率は、平成23年度末で11.5%、愛知県の平均が50.9%、全国平均が32.6%であり、岩倉市の耐震化率は低い状況である。 ・平成24年度に管路耐震化計画を策定し、平成55年度までの基幹管路耐震化計画を立て、計画的、効果的に耐震化事業を進めていく。 ・今後、管路耐震化計画を基に、平成25年度に実施設計を行い、平成26年度から耐震化工事に着手する予定である。 	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

【評価日】 H25 年 4 月 16 日

章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち	節	6	上水道
基本施策	6	上水道	単位施策	(3)	運営基盤の強化
主管課		上下水道課	関連課	—	総合計画書 ページ番号
現状と課題		・少子高齢化の進行や節水機器の普及などにより給水収益の大幅な増加が見込めない中、今後、水道事業の経営は、大変厳しい状況になるものと予想される。 ・今後、更なる水道事業の安定的経営を図るためにには、事務業務の改善、業務委託の推進、新たな情報技術(管路マッピングシステム)の活用などに取り組んできたが、さらに、情報収集に努め、事業の健全化を図る。 ・収納率向上に向けて、利用者ニーズを的確に把握し水道料金の支払等の利便性やサービス向上を図りながら、信頼される水道事業を構築することが今後の課題である。		182	

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由						
	○	平成23年度に策定したアセットマネジメントを導入した岩倉市水道ビジョンの計画に沿って、持続的な事業運営と共により一層のサービスの向上を図りながら、信頼される水道事業に取り組んだ。						
今後の取組	■	平成25年度は、更なる収納率の向上に向け、高額滞納者や長期滞納者をいかに減らしていくかが重要で、効果的な対策に取り組んでいく。						

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値			目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
現年度収納率	%	H21	98.1	98.4	—	—	98.5	

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策	①	経営の健全化					主管課	上下水道課					
		評価	評価理由										
評価及び理由	○	平成23年度に策定したアセットマネジメントを導入した岩倉市水道ビジョンの計画に沿って、持続的な事業運営に取り組んだ。											
指標情報	指標名					単位	基準値	現状値			目標値		
現年度収納率	% %					H21	98.1	98.4	—	—	98.5		
指標情報	事業事業名					単位	基準値	現状値			目標値		
現年度収納率	%					H21	98.1	98.4	—	—	98.5		
事務事業	事務事業名			事業種類			投入コスト			今後の方向性	重点化		
1 検針徴収総合業務	新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計				
2	—	—	—	○	○	—	28,140千円	3,342千円	31,482千円	維持	○		
3													
個別施策	②	利用者サービスの向上					主管課	上下水道課					
評価及び理由	○	管路マッピングシステム導入により、窓口対応等が早くでき、利用者のサービス向上を図るなど、より一層のサービスの向上に取り組んだ。											
指標情報	指標名					単位	基準値	現状値			目標値		
コンビニ収納件数	件					H21	15,983	16,814	—	—	18,000		
指標情報	事業事業名					単位	基準値	現状値			目標値		
1 上下水道システム事業	新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計	今後の方向性	重点化		
2 管路情報管理システム事業	—	—	—	○	○	—	4,523千円	1,671千円	6,194千円	維持	—		
3 改正企業会計システムの導入	○	—	—	—	—	—	0千円	0千円	0千円	拡大	—		

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

【評価日】 H25 年 4 月 25 日

1 単位施策の情報

章	4	快適で利便性の高い魅力のあるまち	節	7	下水道
基本施策	7	下水道	単位施策	(1)	公共下水道事業の推進
主管課	上下水道課	関連課	環境保全課	総合計画書 ページ番号	184
現状と課題	<p>・本市の公共下水道は、五条川左岸・右岸流域下水道の整備とともに推進され、五条川左岸地区については、平成12年度に計画処理区域157haの全ての整備が終了し、全域が供用開始されている。五条川右岸地区については、計画処理区域43.9haに対して整備面積は188.0haであり、平成25年4月時点での整備率が43.3%という状況である。今後は、公共下水道工事の質の低下を招かないように注意し、より経済効率の高い事業推進も行う必要がある。また、下水道の本管布設から20年以上が経過した地区もあり、今後、管路の老朽化等に伴う道路陥没等の緊急対応などが増加することが予想される。そのため、管渠調査・修繕等を計画的に行なうことが重要である。</p> <p>・現在、下水道事業は起債や繰入金に財源を依存しているが、接続率の向上・維持管理費のコスト軽減に向けた働きかけ等を行い、公営企業としての健全な経営を図れるようにしていかなければならない。</p>				

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	整備率が、54.2%（平成21年度末）、56.1%（平成22年度末）、56.9%（平成23年度末）、58.3%（平成24年度末）と着実に増加している。今後も、限られた予算の中で公共下水道の整備と接続率の向上に対して更に努力が必要である。
今後の取組	<ul style="list-style-type: none"> 五条川右岸計画処理区域については、下水道普及率を上げるためにより効果的な工事区域の精査を行い、合わせて下水道接続に対する市民の理解を得る必要がある。 下水道の本管布設から20年以上が経過した地区もあり、管路の老朽化等に伴う緊急対応などが増加することが予想される。今後は、カメラ調査や管路補修等の維持管理も計画していく。 供用開始時に該当地区の方に下水道接続の説明と依頼を行うとともに、年に4回未接続者に対して接続促進の戸別訪問を行う。 経営を健全化するため、流域下水道の維持管理費のコスト軽減について県に働きかける等、下水道事業の効率的な運営を図る。 	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策		①	公共下水道の整備と維持管理の推進				主管課		上下水道課									
評価及び理由		評価	評価理由															
		○	五条川右岸の公共下水道の整備率は、平成24年度末時点で43.3%(計画面積434haのうち整備面積188.0ha)と未だに低い状況にあり、今後更に公共下水道整備を進めていく必要がある。また、維持管理についても管渠の調査、修繕を計画的に行う必要がある。															
指標情報	指標名				単位	基準値		現状値			目標値							
	下水道整備率				%	H21	54.2	56.9	58.3	—	62.4							
	水質調査基準超過件数				件	H21	9	3	11	—	0							
事務事業	事務事業名			事業種類				投入コスト			今後の方向性	重点化						
	新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計									
	1	五条川右岸公共下水道事業	—	○	○	○	○	—	292,428千円	7,060千円	299,488千円	維持	○					
	2	下水管路施設維持管理事業	—	—	—	○	○	—	7,158千円	928千円	8,086千円	拡大	—					
監査	3	水質調査事業	—	—	—	—	○	—	608千円	186千円	794千円	維持	—					

単位施策評価シート（平成24年度実施施策）

1 単位施策の情報

				【評価日】 H25 年 4 月 16 日							
章	4	快適で利便性の高い魅力あるまち		節	7	下水道					
基本施策	7	下水道		単位施策	(2)	下水道事業に対する理解促進					
主管課	上下水道課		関連課	-		総合計画書 ページ番号	184				
現状と課題											
<p>・公共下水道供用開始区域及び工事区域の住民の方に対する公共下水道の必要性については、接続促進や説明会を通じて周知を行っているが、その他の市民の方には普及啓発のPRが行き届いていない現状がある。市民全体会に対して浸水対策を含めた形で水環境の整備促進の必要性を広報紙、HP、出前講座等を活用し啓発していく必要がある。</p> <p>・供用開始後1~3年の地域を中心に接続促進訪問を行い、接続の依頼をするとともに未接続理由をヒアリングしている。</p> <p>・ヒアリングの結果、金銭面の負担から接続を見送っている家屋が多いが、他にも、「全く考えていない」「下水道に关心がない」「現状で何も不自由していない」「周囲が接続していないのでうちも接続しない」といった回答がある。</p> <p>・上記のような回答が多いのは、下水道整備に伴う水環境の改善が日々の生活の中で意識されにくいや、下水道の必要性・重要性が市民に周知されていないことが原因であると考えられる。そのため、市民への広報活動に力を入れ、下水道への理解を促す必要がある。</p>											

2 単位施策の評価と今後の取組

評価及び理由	評価	評価理由
	○	新規下水道接続対象者にパンフレットを配布する、接続促進の頻度を増やす等一定のPRはしているが、公共下水道供用開始区域の住民への公共下水道普及への理解を得る説明に留まっている。
今後の取組	<p>・平成24年度は、リフォーム補助金制度の効果もあり、接続促進訪問後の接続率が平成23年度を上回った。平成25年度も、これまでの接続促進において経済的理由で接続していなかった家屋を中心に接続促進訪問を行い、平成24年度よりも多くの接続を目指す。</p> <p>・平成24年度は、平成23年度と比べて下水の水質基準を超過する事業所が多かった。今後は、一般家庭のみではなく、事業所に対しても下水道の利用に対する理解促進をする必要がある。現在、超過した事業所に対しては、通知文を送るとともに電話にて清掃頻度や今後の改善に向けた対策を指導している。これからは、基準を超過した事業所がその後基準超過することがないよう徹底した指導を行い、また、水質調査対象の全事業所に対して水質基準を周知するなどして、最終的に基準超過する事業所がないようにする。</p>	

3 単位施策の成果指標(総合計画に記載してある基本施策及び単位施策の指標を記載)

指標情報	指標名	単位	基準値		現状値		目標値
			年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)
	下水道出前講座・見学会参加者数	人	H21	0	130	126	—
							100

4 各個別施策の成果指標及び事業名、評価結果

個別施策		①	生活排水対策の強化			主管課	上下水道課			
評価及び理由		評価	評価理由							
		○	下水道の日に合わせて、市の広報にて生活雑排水に対する配慮を呼びかけた。また、平成23年度と同様に水処理を理解してもらうために右岸・左岸の浄化センターにおいて親子下水道教室を行い、下水道に対する啓発を行った。							
指標情報	指標名			単位	基準値			現状値		目標値
	下水道出前講座・見学会参加者数				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
事務事業	事務事業名			単位	基準値			現状値		目標値
	新規	主要	マニフェスト		年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
1	下水道出前講座事業	—	○	—	—	—	0千円	12千円	12千円	維持
2										
3										

個別施策		②	広報活動の充実			主管課	上下水道課			
評価及び理由		評価	評価理由							
		○	接続促進(年4回)や工事説明会(年2回)、負担金の説明会(平成24年度は2回開催)にてパンフレットを配布するなどして下水道の必要性等をPRしている。							
指標情報	指標名			単位	基準値			現状値		目標値
	接続促進訪問家屋数				年度	基準値	(H23)	(H24)	(H25)	(H27)
事務事業	事業種類			投入コスト			今後の方向性		重点化	
	新規	主要	マニフェスト	実計	予算	その他	事業費	人件費	計	
1	接続促進事業	—	○	—	—	—	0千円	12千円	12千円	維持
2	工事説明会資料作成事業	—	—	—	—	○	—			—
3	受益者負担金資料作成事業	—	—	—	—	○	—	1千円	81千円	82千円

